

授業科目	看護臨床実習 (2020 年度入学生)				単位	4		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE21513J		
開講年次	3~4	開講時期	後期(前期)	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1			
担当教員	西丸 月美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>机上の学修を実際の医療の現場に参加することにより、より実践的な知識および技術を深めることを目的として実習をおこなう。実務家教員として、臨床経験を活かし、学校現場で遭遇する応急処置について講義及び演習を通してわかりやすく解説する。さらに、医療活動の実態を知ることにより、広く保健医療の一環としての学校保健の在り方について考察し、養護教諭の果たすべき役割を見出せるよう実習をすすめていく。</p> <p>なお、本科目は、「病院実習(【外来実習】と【病棟実習】)」 「学内実習」の大きく2つの内容で実施する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>【外来実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外来受診の流れと各科の特徴を捉えることができる 2. 各科における予診・診察介助・保健指導の実際を見学し、観察の目を養う 3. 各科における代表的な検査について知る 4. 受診が及ぼす患者および家族の心理的变化を理解する 5. 医療現場と地域社会の連携の在り方について考察する <p>【病棟実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 患児(者)に対して基本的な健康観察ができ、適切に報告できる 2. 患児(者)の健康上の問題を明らかにし、それに対する対症看護が実施できる 3. 病棟における感染対策が理解でき実施できる 4. 患児(者)の適切な環境を整えることができ、退院後の生活について考察できる 5. 保健医療福祉における看護体制の機能と看護職の役割、養護教諭としての連携の在り方が考察できる <p>【学内実習】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護的視点が必要な保健指導のポイントが押さえられる 2. 基本的な応急処置ができる 3. 児童生徒の体調不良時の養護診断が適切におこなえ、それに伴う援助を導き出すことができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	20	40	100	
知識・理解 (DP1-1)				10	10		20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10	10		20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				10			10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				5		20	25	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)				5		20	25	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

<p>病院実習で、必要な看護技術が患者に提供でき、実習を通して得た学びを養護教諭として考察できる。また、養護教諭として身につけておくべき応急処置等の手技が身につけ、教員採用試験の実技試験にも耐え得るレベルである。さらに、養護診断が的確におこなえ、援助方法を導き出すことができる。</p>		<p>病院実習を積極的な姿勢で取り組むことができ、学びを養護教諭として考察することができる。また、養護教諭として身につけておくべき応急処置等の手技が手順書を見ながら実施することができる。さらに、養護診断の重要性を理解し、自身の足りない知識技術に気づくことができる。</p>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>テーマ:オリエンテーション</p> <p>授業の進め方および病院実習について説明し、病院実習に向けての準備を始める</p>	講義	<p>予習:看護学、基礎看護技術で学んだことを総復習する</p> <p>復習:自己課題を見出す</p>	60
2	<p>テーマ:養護教諭が押さえておきたい解剖学・生理学の知識①</p> <p>「運動器」「脳・神経」「感覚器」の基本的な解剖学・生理学の知識を復習し、特に小児期の各器官の発達を解説する</p>	講義・演習	<p>予習:該当部分を復習し、疑問点等を明らかにしておく</p> <p>復習:ノート等で知識整理をする</p>	90
3	<p>テーマ:養護教諭が押さえておきたい解剖学・生理学の知識②</p> <p>「呼吸器」「循環器」の基本的な解剖学・生理学の知識を復習し、特に小児期の各器官の発達を解説する</p>	講義・演習	<p>予習:該当部分を復習し、疑問点等を明らかにしておく</p> <p>復習:ノート等で知識整理をする</p>	90
4	<p>テーマ:養護教諭が押さえておきたい解剖学・生理学の知識③</p> <p>「消化器」「腎・泌尿器」「内分泌」の基本的な解剖学・生理学の知識を復習し、特に小児期の各器官の発達を解説する</p>	講義・演習	<p>予習:該当部分を復習し、疑問点等を明らかにしておく</p> <p>復習:ノート等で知識整理をする</p>	90
5	<p>テーマ:養護教諭が押さえておきたい解剖学・生理学の知識④</p> <p>「生殖器」の基本的な解剖学・生理学の知識を復習し、特に女性の性周期と妊娠について解説する</p>	講義・演習	<p>予習:該当部分を復習し、疑問点等を明らかにしておく</p> <p>復習:ノート等で知識整理をする</p>	90
6	<p>テーマ:養護教諭が押さえておきたい代表的な疾患の知識①</p> <p>学校現場で遭遇する児童生徒によくみられる疾患について解説する</p>	講義・演習	<p>予習:既習の疾病に関する授業内容を復習し、疑問点等を明らかにしておく</p> <p>復習:ノート等で知識整理をする</p>	90
7	<p>テーマ:養護教諭が押さえておきたい代表的な疾患の知識②</p> <p>学校現場で遭遇する児童生徒によくみられる疾患について解説する</p>	講義・演習	<p>予習:既習の疾病に関する授業内容を復習し、疑問点等を明らかにしておく</p> <p>復習:ノート等で知識整理をする</p>	90
8	<p>テーマ:養護教諭養成における病院実習の意義・目的</p> <p>養護教諭として病院実習で学んでほしいこと、目的・目標について説明する</p>	講義・演習	<p>予習:シラバスおよび第1回オリエンテーションで配布した資料を読み込んでおく</p> <p>復習:自己の課題を明らかにする</p>	10
9	<p>テーマ:病院実習に必要な技術①</p> <p>ベッドメイキング、バイタルサイン測定を練習する(西丸・外部講師)</p>	実技演習	<p>予習:基礎看護技術の復習をする</p> <p>復習:できなかった技術を練習する</p>	30
10	<p>テーマ:病院実習に必要な技術②</p> <p>フィジカルアセスメント、車いす介助の練習をおこなう</p>	実技演習	<p>予習:基礎看護技術の復習をする</p> <p>復習:できなかった技術を練習する</p>	30

11	テーマ:看護過程① 事例を用いて、看護過程を展開してみる	演習(GW)	予習:看護学、基礎看護技術での看護過程の部分を復習し、事例を展開するのに必要な資料を収集しておく 復習:事例検討を進める	60
12	テーマ:看護過程② 事例を用いて看護過程を展開してみる。	演習(GW)	予習:事例について看護計画まで書いておく 復習:看護過程の視点をまとめておく	120
13	テーマ:実習直前オリエンテーション(西丸・外部講師) 実習中の動き方、実習日誌について等の説明をする	講義	予習:シラバスおよび第1回・第8回の配布資料を読み込んでおく 復習:実習の準備を整える	10
14	外来実習(西丸・外部講師) 5日間、外来各科を見学実習する	実習 (臨地5日間)	予習・復習は別途直前オリエンテーションで説明します	120
15	テーマ:病棟実習(西丸・外部講師) 病棟で3日間の見学実習をおこなう。ただし、バイタルサイン測定やフィジカルアセスメントの一部、ベッドメイキング等実施可能な看護技術は指導を受けながら実施する	実習 (学内2日間、臨地3日間)	予習・復習は別途直前オリエンテーションで説明します	120
16	テーマ:オリエンテーション 後半の授業の進め方および個人面談について説明する	講義 演習	予習:実習日誌を完成させておく 復習:実習日誌を見直しておく	10
17	テーマ:個人面談 実習日誌および評価表を基に1人10分程度の口頭試問をおこなう	個人面談 口頭試問	予習:口頭試問に耐え得る勉強をしておく 復習:口頭試問でできなかった部分を復習しておく	120
18	テーマ:保健指導の実際① 歯科衛生に必要な知識を解説し、実際のブラッシング指導をおこなう	講義 演習	予習:歯科衛生に関する調べ学習をしておく 復習:養護実習で行く校種にあった歯科衛生を考察する	60
19	テーマ:保健指導の実際② 歯科衛生に必要な知識を解説し、実際のブラッシング指導を行う。	講義 演習	予習:歯科衛生に関する調べ学習をしておく 復習:ノート等で知識を整理しておく	60
20	テーマ:保健指導の実際③ 性に関する教育に必要な知識を解説し、学年にあった性に関する教育の内容を考察する	講義 演習	予習:性に関する資料を集め、学習しておく 復習:ノートに知識を整理しておく	60
21	テーマ:熱中症・嘔吐時の処理の実際 熱中症や嘔吐時等の症状が出現した際の対応の仕方を演習する。	講義 演習	予習:熱中症について知識をまとめておく 復習:手技を確認する	60
22	テーマ:アレルギー疾患対応の実際 アレルギー疾患の症状が出現した際の対応の仕方を演習する。(エピペン演習)	演習	予習:アレルギー疾患について知識をまとめておく 復習:手技を確認する	60
23	テーマ:養護診断に関する事例検討① 「養護診断」について説明し、実習からのロールプレイが円滑にできるようにグループワークを進める。	演習	予習:養護診断について復習しておく。 復習:講義の内容をまとめる	30
24	テーマ:養護診断に関する事例検討② 事例検討のための下調べをしておく。	演習	予習:担当の事例を読んでおく。 復習:調べ学習をまとめておく	30
25	テーマ:救急蘇生法 心肺蘇生法、AEDの使い方等の実技を解説し、演習をおこなう。	講義 演習	予習:BLSの流れを調べておく	30

			復習:ノートに学びを整理しておく	
26	テーマ:救急蘇生法 心肺蘇生法、AED の使い方等を実技演習する。(西丸・外部講師)	演習	予習:すべての医学系科目を見直しておく 復習:自己の課題を見出す。	30
27	テーマ:まとめ 養護教諭として身につけておくべき看護の視点を整理する	講義 演習	予習:すべての医学系科目を見直しておく 復習:自己の課題を見出す	60
28	テーマ:まとめ 養護教諭として身につけておくべき看護の視点を整理する	講義 演習	予習:すべての医学系科目を見直しておく 復習:自己の課題を見出す	60
29	テーマ:個人面談	個人面談	予習:すべての医学系科目を見直しておく 復習:自己の課題を見出す	30
30	テーマ:個人面談	個人面談	予習:すべての医学系科目を見直しておく 復習:自己の課題を見出す	30
理解に必要な予備知識や技能	病院実習に出るためには、実習要件を満たしていることが必須です。必ず「キャンパスライフ」で確認してください			
テキスト	「看護学」「基礎看護技術」で使用した教科書 「からだの地図帳」 佐藤達夫 講談社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「病気がみえるシリーズ」 vol.1～10 メディックメディア 「書いて覚える 解剖生理ワークブック」 安谷 均 照林社 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」 2008 年 日本学校保健会 「症状別 観察ポイントとケア」 照林社 「症状別 看護過程 “アセスメント・看護計画がわかる!”」 照林社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	病院という慣れない場所での実習になります。体調管理を万全にして臨んでください			
達成度評価に関するコメント	実習系科目であるため、実習に対する姿勢、学びが評価の重要なポイントになります。積極的に実習に取り組んでください。 その他の評価は、病院実習(外来・病棟)の取り組み状況及び実習日誌・口頭試問等で評価する。			